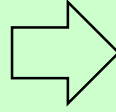


かんしょ（紅イモ）の島内加工による周年生産・供給体制の確立

経営体の概要

経営開始当初（平成26年）
 基幹作物：（露地）紅イモ2.0ha
 経営面積：2.0ha
 （うち畑かん未整備1.64ha）



現在（令和元年）
 基幹作物：（露地）紅イモ 6.6ha
 （露地）島らっきょう0.4ha
 経営面積：7.0ha
 （うち畑かん整備済1.09ha）

取組の経緯と経営転換のポイント等

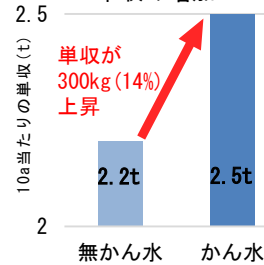
本経営体の経営者は、かんしょ（紅イモ）を生産していた父親から経営を引き継いで平成26年に就農している。主に加工用として生産し、島内にある紅イモ加工施設に全量を出荷しているが、近年、沖縄県を訪れる観光客が購入する御菓子等の原料となる紅イモの需要が急速に拡大してきたことを受け、周年生産及び安定供給を目指して、県営事業により平成8年に畑地かんがい施設が整備されたほ場を平成27年に借りることにより、干ばつの恐れのある夏場でも計画的なかん水を行うことで栽培が可能となり、経営規模も3倍まで拡大している。

営農改善のポイント

①単収・品質の向上

さとうきびとの輪作でアリモドキゾウムシによる被害を軽減するとともに、適時適切なかん水が行えるようになったことにより、単収が10a当たり2.2tから2.5tへと約14%（300kg）増加している。

経営規模拡大による単収の増加



紅イモほ場と収穫調整された紅イモ



②機械の導入

島内の葉たばこ管理機をアレンジして紅イモ苗の植付機に、また、ばれいしょ収穫機を紅イモの収穫に使用する機械化体系を確立している。



機械植えの様子



機械収穫の様子

③流通・販売の工夫

島内に紅イモ加工施設が設置され、島内で加工して長期の冷凍・冷蔵が可能となったことを契機に、御菓子等の原料の紅イモの周年生産・供給体制を確立している。



紅イモ加工施設の内部

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
 関係市町：伊江村
 受益面積：668ha
 事業期間：平成16年度～29年度
 事業目的：畑地かんがい、用水改良
 主要工事：地上ダム 1箇所
 ファームポンド 2箇所
 揚水機場 2箇所
 用水路延長 9.0km
 中央管理所 一式

位置図（沖縄県）



<局問い合わせ先>

沖縄総合事務局
 農村振興課 広域調査係
 電話：098-866-1652
 （内線：83342）

（令和元年調査時点）